

列島は猛暑……最高気温35度以上の

『猛暑日』

が首都圏で続きます。

連日の猛暑・熱帯夜、皆さん家の中でも熱中症にかかること、ご存知でしたか？一番の発症は自宅なのです。

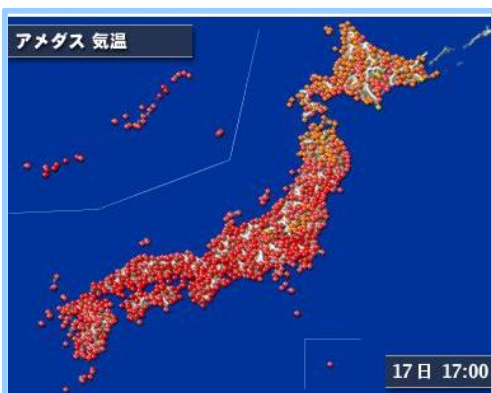
調査対象によると京都府内で生涯学習講座を受講した350人で、55歳から87歳の204人が回答した。

熱中症の意味は89・8%が知っていたが、室内で発症を知っている人は65・7%だけだった。

室内で暑さによる体調不良を感じた経験は、室内の発症を知っている人が41・9%だったのに、知らなかった人は59%に上り知識がある人ほど予防策を講じている可能性がうかがえた。

体調不良の体験場所は、男性は寝室や居間が67・7%、女性は40%が台所だった。消費生活専門員は「日常生活でも特に台所は危険。火を使う時は換気扇を必ず回すなど、室内の温度上昇を防ぐ工夫が必要」と話している。

「2010年7月 読売新聞一部抜粋」



住宅は、もはや雨風をしのぐだけのものではありません。
耐震・耐久以外にも、第2の衣服として命を守るものなのです。
では、どんな住まいが必要なのでしょう？

※左図：yahoo 気温図抜粋



せらら工房の住まい！ポイント！（遮熱編）

熱の移動は3つに分かれます。



- 伝導
- 対流
- 輻射

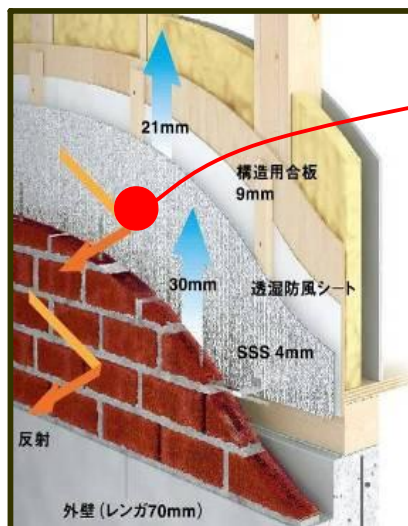


このうち、25%の伝導・対流は、断熱材で有る程度防げます。

残りの75%は輻射熱・・・これは、断熱材では防げません。

そこで、開発されたのが、このスーパー遮熱断熱シートSSS

基本的な考え方は、消防士の服の銀のシートや車のフロントガラス部分に夏場入れる銀のサンシェードと同じです。



スーパ-遮熱断熱シート

遮熱 壁・屋根



SSS(スーパー遮熱シート)を屋根・壁に施工し家をすっぽり包み込みます。

室内の温度環境作りは気密断熱が重要になって来ます。断熱材は厚くするほど、断熱効果が上がるのと同時に熱を蓄熱します。今後の猛暑を考え、これから新築されるお客様。住宅にも遮熱性のある家、必要不可欠だと思いませんか？